教 授　原田　正純（医学博士）

Prof. Dr Masazumi Harada, M.D., Ph. D.

【大学院担当科目】環境福祉論特殊研究　環境福祉論特殊研究演習

環境福祉学特殊研究指導Ⅰ（環境福祉学）

略 歴

1959 年 熊本大学医学部卒業

1960 年 熊本大学大学院医学研究科（内科系）入学

第 28 回医師国家試験合格（第 173811 号で医籍に登録）

1964 年 熊本大学大学院医学研究科（内科系）単位取得満期退学

医学博士（熊本大学）（博医第 158 号）

熊本大学医学部付属病院精神科神経科助手

1965 年 精神認定医（精神保健指定医）に第 2206 号をもって登録

1967 年 熊本大学医学部付属病院精神科神経科講師（～1983 年）

1972 年 熊本大学体質医学研究所気質学助教授

1977 年 久留米大学医学部環境衛生非常勤講師（～1983 年）

1978 年 東京大学医学部衛生学非常勤講師（～1987 年）

1982 年 名古屋大学医学部公衆衛生学非常勤講師（～1987 年）

1984 年 熊本大学体質医学研究所が医学部遺伝医学研究施設に転換とともに助教授として移籍(～1992 年)

1984 年 熊本大学教養部および教育学研究科兼任講師（総合科目「環境学」）（現在に至る）

宮崎医科大学医学部非常勤講師（～1987 年）

大阪市立大学工学部非常勤講師（～1991 年）

大阪大学医学部非常勤講師（環境衛生）（現在に至る）

1985 年 桃山学院大学社会学部非常勤講師（～1986 年）

1987 年 九州大学健康科学センター非常勤講師（～1988 年）

1988 年 琉球大学保健学部非常勤講師（～1991 年）

1990 年 鹿児島大学理学部非常勤講師（～1991 年）

1991 年 長崎大学教養学部非常勤講師（社会政治学）（～1992 年）

熊本商科大学商学部非常勤講師（総合科目「アジア」）（～1992 年）

熊本県立女子大学文学部非常勤講師（総合科目「環境学」）（～1992 年）

1992 年 大阪市立大学教養部非常勤講師（総合講座）（現在に至る）

1993 年 久留米大学文学部人間科学非常勤講師（医療社会学）（～2002 年）

1994 年 九州大学文学部非常勤講師 （環境社会学）（～1995 年）

熊本学園大学非常勤講師 （環境経済学）（～1999 年）

上智大学教養部非常勤講師（環境学）（～1996 年）

宮崎医科大学非常勤講師（医史学）（～2001 年）

1995 年 東京医科歯科大学非常勤講師（公衆衛生学）（現在に至る）

1996 年 広島大学法学部非常勤講師（法と環境）（～1997 年）

1997 年 一橋大学経済学部非常勤講師（環境経済学）（～1999 年）

1999 年 熊本学園大学社会福祉学部教授（福祉環境論、医学一般、環境論担当）
（現在に至る）

学会活動（所属学会）

元日本脳波学会評議員、元日本精神神経学会評議員及び理事・精神神経学雑誌編集委員、日本体質学会（理事）、日本社会医学会（評議員）

専門研究分野

神経学、精神医学、環境医学、公害論、環境福祉論、水俣学

主な研究テーマ

・精神神経医学の臨床的研究とくに精神生理学的研究をおこない、同時に水俣病とくに胎児性水俣病の臨床的・疫学的研究。その後、慢性期及び慢性水俣病の研究を続け、患者の救済や裁判支援を行ってきた。
・三池炭塵爆発による CO 中毒の臨床的研究を開始。
・ストックホルムの第 1 回国連環境会議に NGO として患者と参加。
・国際環境調査団（都留重人団長）に参加しカナダ、アメリカ、北欧などの公害被害地調査を行う。
・二硫化炭素中毒、じん肺、振動病などの職業病、カネミ油症、土呂久ヒ素中毒などの中毒性疾患の疫学的・臨床的研究
・ベトナムの枯葉剤影響調査、アマゾン流域、アフリカなどの金鉱山の水銀汚染調査、アジア各地の環境調査など広く実地調査を行っている
・水俣学講座を開講

主な著書・論文

著書『水俣病と石牟礼道子』　弦書房
著書『水俣がかかえる再生の困難性、水俣病の歴史と現実』　東京大学出版会
著書『水俣学講義』（共著）　第 1 集、第 2 集、第 3 集　日本評論社
著書『現場から学問の捉え直し、「地域の自立シマの力」』　コモンズ
著書“The Global Lessons of Minamata Disease, An Introduction to Minamata studies. ”（共著）
ELSEVIER
著書『現代医学と社会』　朝倉書店
著書「四大公害問題と環境福祉」　『環境福祉学入門』（共著）　環境新聞社
著書『応用倫理学講義 2.　環境』（共著）　岩波書店
著書「人類史に及ぼした水俣病の教訓」『生命と環境の共鳴』（共著）　九州大学出版会
著書『水俣学研究序説』（共著）　藤原書店
著書『環境ホルモン、環境―生体撹乱物質のバイオサイエンス―』（共著）　青木書店
著書『生活福祉論』（共著）　光生社
著書『まちを設計する、実践と思想』（共著）　九州大学出版会
著書『日本社会の差別構造』（共著）　弘文堂
著書『越境する知シリーズ、装置：壊し築く』（共著）　東京大学出版会
著書『いのちの旅』　東京新聞出版局

著書『環境と人体』　世界書院
著書『金と水銀』　講談社
著書『炭鉱（やま）の灯は消えても』　日本評論社
著書『炭じん爆発』　日本評論社
著書『水俣が映す世界』　日本評論社
著書『水俣病にまなぶ旅』　日本評論社
著書『慢性水俣病』　実教出版
著書『水俣病』　岩波新書
著書『水俣への回帰』　日本評論社

社会活動

統計研究会（中山一郎)、
公害研究委員会(都留重人代表)及び「公害研究」(岩波書店)編集同人から「環境と公害」(岩波書店)編集代表
The Science of the Total Environment (アムステルダム)編集委員（1995 年まで）
社会医学研究会世話人
全国労働安全センター議長（東京）（1994 年まで）
「アジア環境白書」編集顧問
医療法人熊本労働安全センター 秋津レークタウンクリニック理事長 （2000 年まで）
環境ネットワークくまもと代表 （2005 年まで）
UNEP グローバル 500 賞（1994 年)、大佛次郎賞（1989 年)、吉川英治文化賞（2001 年)、
日本精神神経学会賞（1965 年)、熊日賞（2001 年)、西日本文化賞（2006 年）

趣　味

演劇・オペラ観賞・何でも調べて回る旅そして温泉。

院生へのメッセージ

とにかく楽しく。好奇心をもってやれば「未知の世界」を知ることほど魅力的なことはない。その魅力を手に入れるか入れないで人生が違ってくる。それが世の中のために少しでも貢献できる道につながるとすればそれは至上の幸せである。